

第38回 全日本自閉症支援者協会 福井大会 開催要項

趣旨説明

テーマ:「自閉症児者への支援を通して、お互いの成長の楽しさを知る」

現在、強度行動障害の状態にある方への中核的人材養成研修が2年目を迎え、支援者の更なる専門性向上が求められています。また、意思決定支援や地域連携推進会議などが今年度から義務化されたこと、利用者本人の高齢化問題などにより、施設運営や職員の支援体制の変化への対応が困難になっています。

そこで今回は、全国の自閉症支援に関わる人々の様々な取り組みや実践を通して、積極的に学び合い、互いに高め合うことを目的とします。そして、利用者の人々が生涯にわたり切れ目なく支援を受けられるよう、今後の支援に繋げていきたいと考えています。

近年、福祉業界では人材不足が深刻化しており、支援現場でも人材確保に苦労しています。本大会は、自閉症支援の学び合いの場であると同時に、会員施設以外の方々にも多数参加いただくことで、自閉症の人々との関わりの楽しさや喜びを分かち合い、現場で働く職員の励みとなるような、そして、福祉の仕事に魅力を感じるような大会を目指します。そして、自閉症の方、支援に携わる方の生活がより豊かになることを願っています。

日 時 令和7年12月8日(月)13:00~20:30

令和7年12月9日(火) 9:30~16:00

場 所 ホテルフジタ福井

〒910-0005 福井県福井市大手 3-12-20 TEL0776-27-8811

主 催 全日本自閉症支援者協会

開催担当 北信越ブロック施設

太陽の村 陽だまり うさか寮 ウオーム・ワークやぶなみ やねのうえのガチョウ

作業センターふじなみ はぎの郷 ジョブスタジオノーム すだちの家

支援センターすだち 白樺の家 あおぞら

主管 社会福祉法人すいせんの里 すだちの家

後 援 福井県 福井市 一般社団法人日本自閉症協会 福井県自閉症協会

公益財団法人日本知的障害者福祉協会 一般社団法人福井県知的障害福祉協会

福井県立大学 (予定)

参加費 両日¥12,000 (1日のみ¥6,000)

学生¥6,000 (1日 3,000)

情報交換会費¥10,000

2日目 弁当代 ¥1,000

●大会プログラム

◎1日目(12月8日)

◆«受付時間» 12:30~13:00

◆«開会行事» 13:00~13:30

- ・主催者挨拶(協会会長)
- ・来賓挨拶 福井県 福井県知的障害者福祉協会会长 日本自閉症協会会长
- ・来賓紹介 福井県自閉症協会・厚労省・福井市
- ・事務連絡

◆«行政説明» 13:30~14:30 (各30分)

○厚生労働省 障害福祉課 発達障害施策調整官 山根 和史 氏

○こども家庭庁 支援局 障害児支援課 発達障害児支援専門官 今出 大輔 氏

◆«大会記念講演1» 14:40 ~ 15:55 (75分)

- ・講演:「多職種チームで行う 強度行動障害のある人への支援」(仮)
独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター 統括診療部長 會田 千重 氏

◆«大会記念講演2» 16:05 ~ 17:20 (75分)

- ・講演:「自分らしくありのままに生きる」(仮)
社会福祉法人やまなみ会 やまなみ工房 施設長 山下 完和 氏

◆«情報交換会» 18:30~20:30

- ・ザ・グランユアーズフクイ(ホテルフジタ福井)3階

◎2日目(12月9日)

◆«受付時間» 9:00~9:30

◆«シンポジウム» 9:30~11:40 (130分)

- ・テーマ:「共に歩む「楽しい老 GO」~自閉症者の豊かな人生を考える~」(仮)
高齢化問題においては様々な課題がありますが、今回は自閉症児者が高齢となつても
自分らしく暮らせる支援のあり方や一人ひとりの充実した暮らしの実現について考えます
- ・進行: 清水 聰 氏 福井県立大学 教授(福井県自閉症協会会长)
- ・話題提供者: 勝部 真一郎氏 社会福祉法人 北摂杉の子会 萩の杜 施設長
近藤 裕彦 氏 社会福祉法人 檜の里 あさけ学園 施設長
藤田 理奈 氏 社会福祉法人 檜の里 あさけ学園 生活支援員
木下 美智子氏 福井県自閉症協会
- ・指定討論者: 日詰 正文 氏 国立重度知的障害者総合施設のぞみの園研究部部長

全体会終了後に閉会式 11:40～

・次期開催主管施設あいさつ

◆«分科会» 13:00～16:00

◇第1分科会 「荒海を行け中核的人材～中核的人材研修、黎明と責任と～」

令和6年度より体系化された中核的人材研修。地域の強度行動障害児者への支援体制を構築していくにあたっての役割などが期待されています。

本分科会では、現在の研修概要、求められる点、先進地の実践などを講師より紹介いただくと共に「強度行動障害を有する児者に対してのチーム支援の中心とは何か？」を考えます。

・講 師：松本 佳雅 氏 独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園
生活支援部特別支援課かわせみ寮 寮長

神田 宏 氏 社会福祉法人 横浜やまびこの里 横浜市発達障害者支援センター
発達障害者地域支援マネジャー

・司 会：細井 聰仁 氏 社会福祉法人 新潟太陽福祉会 陽だまり 園長

・担当施設：太陽の村、陽だまり(新潟)

◇第2分科会 「自閉症の人達への意思決定支援」

支援を行う際に大切な考え方である「意思決定」を踏まえ、自閉症の方への支援をどのように進めていくべきかを改めて考える機会としたいと思います。

このことが、皆さんとの対応へのヒントとなり、より良い支援の方向性を見出す手助けになるはずです。

・講 師：志賀 利一 氏 国立重度知的障害者総合施設のぞみの園 参事

・担当施設：あおぞら、白樺の家(長野)

◇第3分科会 「カンファレンスがチームを育てる！」

実際に15分カンファレンスを行い、その効果を実体験します。

チームを育てるカンファレンスのポイント、悩み事を解決するカンファレンスのポイントなどを、全国の仲間と一緒に語り合いながら学びます。

・講 師：加藤 潔 氏 社会福祉法人はるにれの里

・担当施設：はぎの郷(石川)

◇第4分科会 「強度行動障害の予防的支援～これから児童期に求められる支援とは～」

これからの児童期支援のあり方について、参加者のみなさんと意見交換を行い、児童期支援における全自者協の役割を再確認します。

・発表者：五十嵐 猛 氏 社会福祉法人 萌葱の郷（全自者協 児童療育部会長）

・講 師：水流 かおる 氏 社会福祉法人 落穂会（全国児童発達支援協議会副会長）

・助言者：今出 大輔 氏 こども家庭庁 支援局 障害児支援課 発達障害児支援専門官

・司 会：石井 啓 氏 社会福祉法人 嬉泉（全自者協 副会長）

・担当施設：児童療育部会（運営サポート：すだちの家）

◇第5分科会 「地域を創る！～誰もが安心して暮らすことの出来る地域とは～」

被災地支援にも積極的人取り組んでいらっしゃる(株) CoAct 渡嘉敷氏(リスクマネジメントアドバイザー)を講師に招き、被災時における実践報告やワークショップを通じて、誰もが安心して暮らすことの出来る地域作りについて考えます。

・発表者：田中 こず恵 氏 社会福祉法人 徳充会 石川県精育園 園長

：水野 努 氏 社会福祉法人 けやきの郷 初雁の家 施設長

・講師：渡嘉敷 唯之 氏 (株)CoAct 代表

・司会：石川 権一 氏 社会福祉法人 めひの野園 やねのうえのガチョウ 主幹

・担当施設：めひの野園(富山)

大会事務局

919-0312 福井県福井市東大味町9号15番地

社会福祉法人 すいせんの里

障がい者支援施設 すだちの家（山岸靖彦・暁美樹夫）

TEL 0776-41-3950

FAX 0776-41-3935

e-mail sudachi@angel.ocn.ne.jp

参加申し込み等

別紙をご覧いただき、申し込みサイトからお申込みください。

※ 8月1日より受付を開始し、〆切は10月20日とします。

申し込みフォーム <https://x.gd/PR4Bn>



910-0065 福井県福井市八ツ島町31-402

(株)福井観光トラベルサービス（安田）

TEL 0776-28-1888

FAX 0776-24-1888